

ノーベル
平和賞受賞

ICANと
(核兵器廃絶国際キャンペーン)

なぜ会わない

共産党・小池書記局長が 安倍首相を批判



日本共産党の小池晃書記局長は1月15日の記者会見で、核兵器禁止条約を推進しノーベル平和賞を受賞した「ICAN」のフィン事務局長からの安倍晋三首相との面会の要請を拒否した日本政府の対応について問われ、「本当に恥ずかしい」と厳しく批判しました。

万難を排して会うべきだ

小池氏は、17日に外遊から帰国する安倍首相は18日まで日本に滞在するフィン氏と会えるはずだと述べたうえで、「被爆者の運動が国際的にも評価され、ノーベル平和賞を受賞したのは、日本の首相であれば心から喜ばなければいけないことだ。被爆者のみなさんも涙を流して喜んでいる。その時に、日本の首相が、ICANの代表が会いたいと言っているにもかかわらず、会わないとはいかなることか。こんな大事な相手になぜ会わないのか」と重ねて批判しました。

また、昨年8月の広島・長崎両市での平和記念式典で首相は「被爆者の方々に寄り添う」といながら、今回のような突き放す対応をとっていると指摘。「長崎で被爆者の代表が批判したように、“あなたは本当にどの国の首相なのか”と言いたくなる」「万難を排して会うべきだ」と主張しました。

核兵器禁止条約に賛成する政府を!!

唯一の被爆国である日本の安倍政権が核兵器禁止条約に反対しているのは恥ずべきことです。「ヒバクシャ国際署名」の運動を広げ、禁止条約にサインする政府をつくるため、力をあわせましょう。



参議院議員(東京選挙区選出)

きらよしこ

吉良よし子

日本共産党

東京
民報

ご意見・ご要望は 03-5972-1621、FAX 03-5972-1590

2018年1月号外 日本共産党東京都委員会の見解を紹介します。

発行/東京民報社(港区芝1-4-9 平和会館5階) 1965年11月12日第三種郵便物認可